

研究データ利活用協議会

2025年度活動総括

2026年3月11日

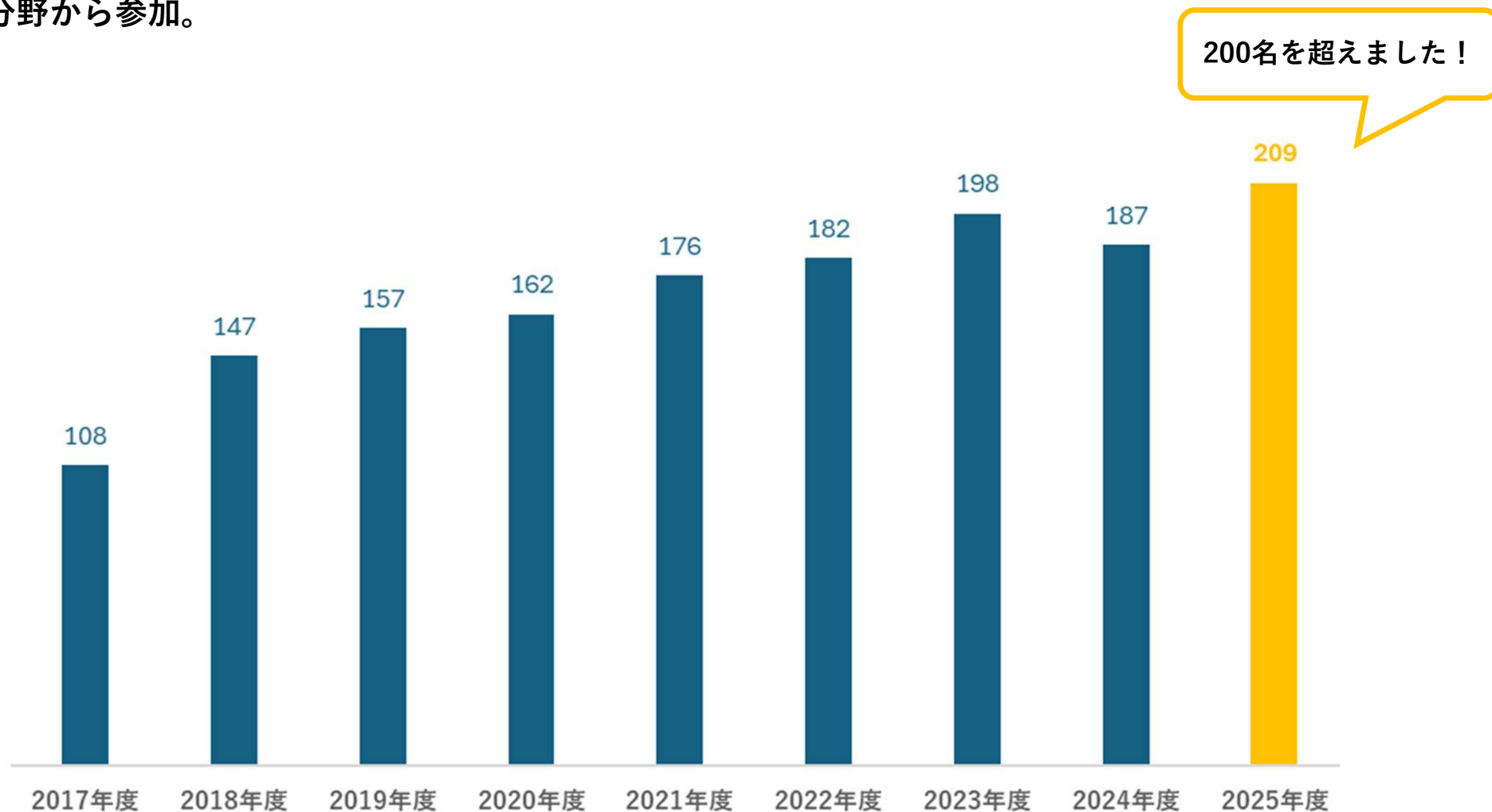
目次

- 会員について（会員数の推移、企画委員会など）
- 2025年の活動について（活動方針、活動内容など）
- 小委員会・部会について
- 今後の予定

会員の推移

<個人会員：209名（2025年1月末時点）>

研究者（データ提供者、データ利用者）大学・研究機関のデータリポジトリ関係者、図書館員など幅広い分野から参加。



会員の推移

< 機関会員：8機関 >

RDUFの目的に賛同し、活動に貢献する企業又は団体等。2025年度の新規加入なし。



2025年度企画委員会

<企画委員：13名>

南山 泰之 (委員長) / 東京大学

熊崎 由衣 (副委員長) / 千葉大学附属図書館

池内 有為 / 文教大学

江森 正憲 / 科学技術振興機構

小林 芳幸 / 国立国会図書館

高津 佳宏 / 海洋研究開発機構

田辺 浩介 / 物質・材料研究機構

長岡 千香子 / 国立情報学研究所

早川 美彩 / 日本原子力研究開発機構

林 和弘 / 文部科学省 科学技術・学術政策研究所

古川 雅子 / 国立情報学研究所

村山 泰啓 / 情報通信研究機構

八塚 茂 / 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

2025年度の活動方針

1. 様々な知見やユースケースを共有し、関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。
2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、その結果を「研究データ利活用協議会」の成果物（ガイドライン、ノウハウ集、事例集など）としてまとめることを目指す。
3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ利活用協議会」のプレゼンス向上を図る。

2025年度の活動

<2025年度企画委委員会（6/2、9/29、2/19開催）>

- 活動に関する議論
- 広報の強化
 - RDUF Wikipediaの更新
 - RDUF紹介チラシの作成
- イベントの企画
- 小委員会設置審議 等…

<Japan Open Science Summit JOSS2025（6/23-27開催）>

OSに関する日本最大の会議。RDUFは協力機関。会員も議論へ参加。

<公開シンポジウム>

公式サイトで発表資料・動画を公開しています！
<https://japanlinkcenter.org/rduf/events/index.html#s002>

- 招待講演 Maria Gould氏（DataCite、Director of Strategic Programs and Partnerships）
- RDUFの活動紹介
- 小委員会、部会の活動報告
- 会員によるライトニングトーク（9件）
- ポスターセッション（10件） ※現地会場限定

<総会（本日）>

2025年度の総括および2026年度の予定を共有。



チラシはRDUF公式サイトからダウンロードできます！

<日本語版>

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/rduf_flyer.pdf

<英語版>

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/rduf_flyer_eng.pdf

小委員会について

会員が抱える研究データ管理に関する様々な課題について、共通のテーマで集まり議論を深め、その成果を指針やガイドラインとしてまとめて公開することを目的とした「小委員会」を設置。

<過去の小委員会>

- ・ データ管理計画(2017.9-2019.3)
- ・ 研究データのライセンス検討プロジェクト(2017.10-2019.3)
- ・ リサーチデータサイテーション(2018.12-2020.6)
- ・ 研究データライセンス(2019.7-2020.12)
- ・ ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク(2020.1-2020.12)
- ・ 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討(2021.10-2023.3)
- ・ 研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会(2022.2-2023.9)
- ・ 研究データへの DOI 登録促進(2021.11-2024.6)

<主な活動内容>

- ・ ミーティング、勉強会、セミナーの開催
- ・ セミナーや調査等で得られた知見に基づく調査報告書の作成
- ・ RDUF 総会・公開シンポジウム、JOSS などオープンサイエンス関連イベントへの参加

小委員会の成果物は、RDUF公式サイト「成果物ページ」で公開しています！

<https://japanlinkcenter.org/rduf/deliverable/index.html>

新規小委員会の提案については、RDUF公式サイト「小委員会ページ」をご参照ください。

<https://japanlinkcenter.org/rduf/subcommittee/index.html>

小委員会について

＜政府メタデータ共通項目小委員会＞ 2025年9月より活動中！

2021年4月に示された「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」では、公的資金による研究データの産学官での幅広い利活用を図るため、15のメタデータ共通項目が示された。

本小委員会では、主として**研究者の視点からこれらの項目をレビュー**し、対応する項目の精緻化を検討する。さらに、**国際標準に準拠したメタデータの在り方についても議論し、政策提言に繋げる**ことを目指す。

(参考) 2025年度公開シンポジウムでの活動報告：

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/rduf2025_metadata.pdf

＜PIDユースケース検討小委員会＞ 2025年11月より活動中！

昨今、研究成果物や研究者、研究費、研究機関などに永続識別子（PID）を付与し、国際協調のもとデータを整備して分析に役立てる試みが進んでいる。

本小委員会では、PIDを活用した具体的なユースケースづくりを通じて、**多様なPIDの使用方法和メリットを整理し、国内におけるPIDのさらなる普及**を目指す。

(参考) 2025年度公開シンポジウムでの活動報告：

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/rduf2025_pidusecase.pdf

小委員会への参加申込は随時受付ています。

https://form2.jst.go.jp/s/rduf_Subcommittee_participation

部会について

小委員会活動等によって得られた知見の継承と展開を、長期的・継続的に行うことを目的として、活動期限に縛られない枠組みとして設置。

小委員会成果物の更新や利活用促進、継続的な議論、コミュニティの拡大等の活動を行う。

<データ共有・公開制度検討部会>

本部会は、研究データライセンス小委員会の活動を継承し展開することを目的として、**研究データの公開・利用条件指定ガイドラインの広報・更新**などを実施。

また、研究データ利活用に関する法的・制度的課題の検討をもとに、学会やセミナーで**成果発表や知見の共有**を行うほか、企画委員会による了承のもと、**個別のアドバイザー**的な役割も担う。

<ジャパン・データ・リポジトリ・ネットワーク推進部会（JDARN）>

本部会は、ジャパン・データ・リポジトリ・ネットワーク小委員会の活動を継承・展開することを目的として、主に**国内のデータリポジトリの信頼性を、国際的に期待されている水準に高めるための活動**を行う。

また、多様化するデータリポジトリへの要求に対応し、共通の課題を議論する場を設け、**データリポジトリ関係者のコミュニティ形成**を目指す。

部会への参加申込は随時受付ています。

https://form2.jst.go.jp/s/rduf_permanent_participation

今後の予定

<次年度企画委員 選出手続き>

2026年2月～3月で実施します。

委員候補者の**信任投票**（3月末予定）は個人会員によって行います。

追って事務局からご案内させていただきますので、ご協力のほどお願いいたします。